

# さんかくフェスタ

各種セミナー・キラ☆とよた活動団体の展示・ワークショップなどに参加でき、楽しみながら男女共同参画や多様性について学ぶことができます。広報とよた10月号やキラ☆とよたHP、公共施設配架チラシなどで情報発信予定です。皆さんのお越しをお待ちしています！

場所 豊田産業文化センター  
 日時 2024.11.10(日) 10:00~14:00  
 主な企画 登録団体の企画展示・ステージ発表、相談ブース、スタンプラリー、農産物販売、おもちゃ作り、飲食ブース等

※写真はさんかくフェスタ2023の様子

2024  
**開催します！**  
 さんかくシアター  
 劇団うりこ  
 演劇『わたしとわたし、ぼくとぼく』  
 時間 14:00 ~ 15:30 (開場 13:30)  
 場所 産業文化センター小ホール  
 申込 2024.10.05(土) 10:00より  
 キラ☆とよたへ申込み  
**入場無料！**  
 詳細はコチラ☆



詳細はコチラ☆

## ある日の相談室

主相談員が中心に開催いたします

### 今月の相談

妻と口げんかが絶えなくて…  
 妻と2人暮らし、子どもはいない。結婚して15年経つが結婚当初から口げんかが絶えなくて、妻は些細なことで突っかかってくる。特に生理前後がピークに思う。口げんかで手を出したことはないが、妻は口で言って腹の虫がおさまらないと次は物にあたる。私はどうしたらいいのか。2人ともインドア派で共通の趣味はテレビゲームくらい。何とかしたいと思っているが…



### 相談員より

2人ともインドア派とのことですから、共通の趣味であるテレビゲームを楽しんだり、たまには外で映画やショッピング、小旅行等で気分転換を図ったりいかがでしょうか。ただし、気になるのは、もしかしたら妻は日常生活に何か不満があるのかもしれないですね。あなたは、日常生活で家事をされていますか。例えば食べた食器を洗ったり、お風呂掃除をしたり、一緒にできることはいろいろあるのではないのでしょうか。そんなところからお互いの距離を縮めてみてはいかがでしょうか。

### 女性のための電話相談室「クローバーコール」

クローバー  
**(0565) 33-9680**

火・木～土曜日 AM10:00～PM4:00  
 水曜日 AM10:00～PM1:00 PM4:00～PM7:00

### 男性のための電話相談室「メンズコールとよた」

**(0565) 37-0034**

毎月 第2・第4金曜日 PM6:00～PM8:00

- ◇ クローバーコール・メンズコールとも祝日、年末年始休み
- ◇ 相談無料・秘密厳守

### 編集・発行

**キラ☆とよた**  
 とよた男女共同参画センター  
 〒471-0034

豊田市小坂本町1-25  
 (豊田産業文化センター2階)  
 TEL : (0565)31-7780  
 FAX : (0565)31-3270  
 E mail : clover@city.toyota.aichi.jp  
 HP : https://clover-toyota.jp/

### 開館時間

AM9:00 ~ PM9:00 日曜日はPM5:00まで  
 月曜日休館 (月曜祝日はPM5:00まで開館)



【アクセス】 名鉄豊田駅から徒歩8分  
 愛知環状鉄道新豊田駅から徒歩3分

編集後記 読書の秋ですね。とよた男女共同参画センターでは、図書の貸出も行っており、ジェンダー、働き方、子育てなど「自分らしさ」を応援する図書がたくさんあります。是非一度、お立ち寄りください！

# Clover

とよた男女共同参画センター情報誌「クローバー」

No. 48

Autumn 2024

## おやこのためのLGBTQおはなし会を開催しました！



多様な個性を受け入れ、誰もが活躍できる社会づくりの一環として、4月21日(日)に豊田市中央図書館にて、「おやこのためのLGBTQおはなし会」を開催しました。おはなし会では、LGBTQに関する絵本の読み聞かせが英語と日本語で行われ、二言語で楽しめる会となりました。また、おはなし会を通して、おやこでLGBTQに対する理解を深めることができました。

★ 豊田市初の女性副市長 辻邦恵さんにインタビューしました！

★ PICKUP 育児休業中のパパにお話を聞きました！

★ キラビト やはぎ会

★ キラ☆とよたからのお知らせさんかくフェスタ

★ ある日の相談室 「妻と口げんかが絶えなくて…」

【表紙写真】おやこのためのLGBTQおはなし会の様子(令和6年4月21日開催)

## Cloverとは?

クローバーの葉を一人ひとりの生き方を尊重した道しるべとして表現することで広く親しんでいただけるよう情報誌の通称を「クローバー」と名付けています



# 特集

豊田市初の女性副市長 辻邦恵さんにインタビューしました！

## 一人ひとりがキラッと輝ける チームとよたに



辻 邦恵 (つじ くにえ) 副市長

今年6月、豊田市初の女性副市長として就任。これまで、企画政策部、総務部、生涯活躍部、こども・若者部、福祉部等多くの職務に携わる。趣味は、10年続けているフラダンス。仲間とリラックスして踊ることで気分転換している。また、この春からウクレレも始めた。新しいことにチャレンジして、自信に変えたり、交友関係の幅を広げたりして、リフレッシュしている。座右の銘は、「ある一つの職業の偉大さは、もしかすると、まず第一に、それが人と人を親和させる点にあるかもしれない。真の贅沢というものは、ただ一つしかない。それは人間関係の贅沢さだ。」サン＝テグジュペリ「人間の土地」から

### 多くの市民との繋がりの中で幅広い視点で考える

#### 一 副市長に就任されて変わったことは

副市長に就任し、仕事の範囲が広がったことで就任前とは違った視点で幅広く考えるようになったことが1番の変化だと思います。多種多様な活動や事業を行う方々にお会いする機会が増え、新たな視点を得ることができました。多くの方がそれぞれの活動で豊田市のことを考え、奮闘されています。携わっていることは違っても、どこかで繋がり、横断的な取組となっていることに改めて気づきました。

### 性別にかかわらず、それぞれの役割で

#### 一 女性が活躍する社会になるために何が重要だと考えられますか

性別に限らず、それぞれ個人が違った事情を抱えており、全ての人と同じように仕事ができるわけではないという共通認識を持って職務にあたる必要があると思います。「それぞれの役割があるからこそチームとして成り立つ」ことを心に留め、個々のライフステージや家庭事情も含めて、個人の良さが発揮できるような職場環境が求められると思います。



### 会話のキャッチボールで築く信頼関係

#### 一 人とのコミュニケーションで心がけていることはありますか

人それぞれ置かれている状況や抱えている課題、考えが異なるということを心に留め、相手の話に耳を傾けることを意識しています。また、共感・理解した上で、自分の考えや意見を明確に伝え、双方向のコミュニケーション、会話のキャッチボールを行うことで、信頼関係を築いていきたいですね。

### 「チームとよた」で「みんなでつくるまちづくり」

#### 一 今後、副市長として、どのようなことに取り組んでいきたいですか

市民一人ひとりが輝ける「チームとよた」で、「みんなでつくるまちづくり」を進めていきたいですね。まちづくりは市民、企業、行政が大きな方向性を同じくして、共働で取り組むことが重要です。現在、豊田市は人口が減少傾向ですが、人口が減少しても斬新なアプローチによって、明るく希望の持てるまちづくりは実現できると信じています。そのために、様々な取組に挑戦できるまちづくりに取り組みたいです。



### 変化を恐れず、様々な活動に取り組んでほしい

#### 一 市民の皆様へのメッセージをお願いします

市民一人ひとりが輝けるよう、同じ方向を向いて活動ができるように、思いを引き出し、伝える活動に注力したいと考えています。豊田市をより暮らしやすく、活気あるまちにするために、変化することも恐れず、「チームとよた」として、様々な活動に取り組んでいただきたい。

## PICKUP

### 育児休業中のパパにお話を聞きました！

昨年10月にキラッとよたで開催した、男女共同参画セミナー「夫婦で育休を学ぼう！最高の育休にする過ごし方」を受講された宮本成将(みやもとしげまさ)さん(市内在住)にお話を聞きました。

宮本さんは、アンシンハウス(本社:高丘新町)にお勤めの大工さん。第3子の誕生に合わせ、昨年11月から1年間の予定で育児休業を取得中です。



宮本さんご夫妻

#### 一 育休を取ろうと思ったきっかけを教えてください

特にはっきりとした理由はないですが、3人目だったからというのと、妻も私が育休を取得することを希望していたからです。収入が減ることは少し心配でしたが、一時的なことだと考えて割り切りました。

#### 一 育休を取りたいと伝えた時の職場の反応はどうでしたか

社内で男性が育児休業を取った前例がなかったので、なかなか言い出せませんでした。勇気を出して意向を伝えたら、前向きに検討してもらえて育休取得が実現しました。大工という仕事柄、休みに入るときも復帰するときも引継ぎなどはあまり必要ないので、その点では取得しやすい職種なのかもしれません(笑)。



#### 一 育休中のいま、どのような生活をされていますか

妻も仕事をしており、同時に育児休業を取っています。私は朝、上の子をこども園に送ったり、子どもたちをお風呂に入れたり、食器洗いをしたり、やれることをやっています。最近は下の子と2人だけで出かけられるようになりました。子どもの成長を夫婦と一緒に感じられるのは今しかできないことだし、家族との時間がしっかり取れるのが、育休を取って何よりよかったことです。

#### 一 これから育休を取られる方にメッセージをおねがいします

男性が育休を取ろうと思うと、希望を言い出しにくかったり、収入が減るなどマイナス面に目がいきがちですが、家族にも自分の心にもゆとりができ、復帰後の仕事にもプラスになると思います。環境が許すのであれば、1年程度長めに取ることをお勧めします！



今年も育休講座を開講します！

超簡単に夫婦で育休を学ぼう！  
最高の育休にする過ごし方

日時：2024年11月23日(土) 午後1時～3時  
会場：とよた男女共同参画センター(キラッとよた)  
対象：市内在住か在勤で、育休取得に関心のある夫婦やカップル(一人での受講も可)  
定員：先着15組  
受講料：無料  
申込み：10月5日(土) 午前10時より  
電話・HPにて申込み可



とよたのキラビト  
男女共同参画センター登録団体  
やはぎ会



やはぎ会は愛知県の地域開発事業及び男女共同参画セミナーの修了生でつくる西三河地区の団体で、1987年に設立しました。現在、「豊田」「碧海」「西尾」「岡額」の4ブロック総勢70名で女性の地位向上と地域社会の発展を目指して活動しています。今年の10月26日(土)と27日(日)に豊田産業文化センターで開催される「第43回高齢社会をよくする女性の会全国大会 in とよた」の実行組織として大会成功に向けて準備を進めています。